

# 四季の鳥

私たちの近くに息づく野生

[文・写真] 中田一真

## ジョウビタキ

—ガマズミ食堂の常連客

なかた・かずま

1966年生まれ。会社員、野鳥写真家。  
身近な鳥たちの四季折々の姿を20年撮影し続けている。  
【中田一真のホームページ】  
<http://www.asahi-net.or.jp/~jx7k-nkt>

雪がやんだ朝、雌のジョウビタキが、公園の一角にあるガマズミの木にやってきた。木は高さ2mほど。十数本が固まって生えているから、公園を造成した頃にまともに植えたものなのだろう。枝には小さな赤い実がたくさんなっている。

鳥たちは鼻が効くようで、匂の時期をよく知っている。ガマズミの実が熟して今が食べごろ。

ジョウビタキに続いて、メジロ、シロハラ、ルリビタキ、ヒヨドリと、入れ替わり立ち替わりお客さんがやってきては、空腹を満たしていく。

ガマズミ食堂は、枝の実がなくなるまで、連日無休で営業中だ。

ジョウビタキ スズメ目ツグミ科  
全長14cm

【撮影地】兵庫県三田市